

四、勿論従来同様、レコー・コンサートや各国のワルター協会刊行物にお知らせ、希望者に対する実費幹旋は続ける予定です。

イ、第四回ミーティング(レコード・コンサート)

六月中旬(予定)詳細は追ってお知らせいたします。

ロ、第二回特別配布研究資料(米国ワルター協会製作レコード)

A モーツァルト「ドン・ジョバンニ」全曲(三枚組八、二〇〇円)

(一九四二年録音、ワルター指揮、メトロポリタン・オペラ)

B ヨーゼフ・シゲティとNBC交響楽団(一枚 二、四〇〇円)

モーツァルト ヴァイオリン協奏曲第三番(一九五一年、ワルター指揮)

ベルグ ヴァイオリン協奏曲(一九四五年、ミトロポリロス指揮)

御希望の方は、五月十五日まで(当日必着)に協会に申込んで下さい(様式自由)

会費

### 日本ブルーノ・ワルター協会昭和四十六年後期事業に就いて

秋分を過ぎると、にわかには秋冷の気に満ち、音楽の鑑賞には最適の季節となりました。

当協会では、本期において、既にレコード・コンサートの開催及び諸印刷物の配布を開始致しましたが、懸案の研究用録音資料として左記二枚のモノラル30cm LPの配布を計画して居ります。

また、本年度後期会費を納入していただく時期とも相成りましたので、何卒御高配下さいませ様、お願い申し上げます。今回配布致します録音資料は、何れもベルリン国立歌劇場管弦楽団との協演によるものです。

一、A チャイコフスキー 交響曲第六番ロ短調「悲愴」(一九二四)

ワルターとしては非常に珍らしいチャイコフスキーの作品の演奏で、我が国のみならず全世界において、その存在が知られていないのが現状です。言わば「幻」のレコードであります。四十七年も前のアコースティック録音としては、意外に音が良いのに驚かされます。勿論本邦未発表のものです。

B モーツァルト歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」序曲(一九二五)

「イドメネオ」序曲

本邦未発表

二、A モーツァルト 交響曲第四十番ト短調K・五五〇(一九二九)

モーツァルト解釈における最高権威者としてのワルターの名声を高からしめた、定評ある名演です。また、往年のSPレコードでは聞えなかった、微妙な弱音や内声部のニュアンスが手に取る様に聞えて来るといふ、入念な仕上げによるものです。

B J・シュトラウス 喜歌劇「蝙蝠」序曲(一九二九)

円舞曲「ウィーン気質」

三、配布時期 昭和四十六年十一月

四、会費等の納入

A 入会金一、〇〇〇円(勿論、既に入会なさった方は、納入の必要はありません。)

B 昭和四十六年度後期会費 四、八〇〇円

C 納入期日

当協会のスムーズな運営の為、本状がお手許に届き次第、折返し現金書留にて御送金下さいます様、お願い申し上げます。但し、特に御事情がおありの方は、十二月十五日迄お待ち致しますので、納入予定時期を御一報下さい。

宛先

日本ブルーノ・ワルター協会

菅 一方